

# 第116回 EVENING THEATER

今、  
そこに  
ある  
危機  
に  
備  
え  
て

# 震災特集



2024年1月17日。

あの日から29年目のこの日、第116回イブニングシアターは「震災」を取り上げます。

土木学会が所有する震災映像のうち、今回は1983年の日本海中部地震、1995年の兵庫県南部地震、2011年の東北地方太平洋沖地震を取り上げた映像をご覧ください。地震による被害からの復旧、過去の巨大地震から学ぶ知恵と教訓を記録した3作品です。

3作品の上映に先立ち、現在東京都で行われている災害への備えについて、「TOKYO強靱化プロジェクト」に関するご講演と解説をいただきます。

**2024年1月17日(水) 17:45 開場 18:15 開演 参加無料**  
土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

HPにて参加申込み受付 <http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。  
問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

# 上映作品

※上映スケジュールはHPをご確認下さい。  
劇場内での録音、撮影はご遠慮下さい。

## 蘇った秋田港－日本海中部地震からの復興

企画：運輸省第一港建秋田港工事事務所 制作：秋田テレビ  
1985年 32分 第12回土木学会映画コンクール準優秀賞



1983年5月26日正午に発生した日本海中部地震により秋田県を中心に被害を受けました。この地震被害の特徴は、津波による被害と砂地盤の液状化による被害が上げられます。被害の中でも秋田港の岸壁被害が甚大でした。この映画は、地震発生から復旧工事完成までの記録です。特に、津波の発生機構、砂地盤の液状化現象の説明では、実験室における模型実験を通して非常に理解しやすく解説しています。

## 復旧の軌跡－阪神・淡路大震災土木施設の災害記録－

企画：兵庫県土木部 [企画・制作] 制作：兵庫県建設技術センター、NHKきんきメディアプラン [制作協力]  
1998年 27分 土木学会選定映像

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災によって兵庫県内の土木施設は、神戸市、西宮市、淡路島北部を中心に大きな被害を受け、被害総額は1兆5千億円に上りました。この作品は震災から3年後、1998年12月に兵庫県土木部（その後、県土整備部と名前を変える）が企画制作した阪神・淡路大震災の映像記録です。震災直後の阪神高速道路、鉄道、下水処理場、港湾施設、河川堤防、西宮市仁川の土砂崩れなど県内各地の土木施設が受けた被害の全貌を27分という短い時間でコンパクトに紹介するとともに、道路、鉄道、港湾などジャンルごとに、被害の状況を詳しく説明しているほか、兵庫県による震災後3年間の復旧への取り組みについても解説が加えられています。

阪神・淡路大震災を描いた映像作品の中でも、この作品は地震による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品となっています。その意味で、土木技術者や行政担当者に限らず、土木や防災に関心を持つ多くの人に見ていただきたい作品です。

## 迫りくる南海トラフ巨大地震に備えて

企画：(一社)中部地域づくり協会 制作：(株)CBCクリエイション  
2013年 25分 第26回土木学会映画コンクール優秀賞



2011年3月11日、日本を襲った巨大地震は未曾有の被害と悲しい爪痕を残しました。中部地方も過去幾度となく巨大地震に襲われ、その記録が各地に残されており、南海トラフ巨大地震に直面していると言われる今、私たちは災害から学び教訓とすることが求められています。本作品は、受け継がれる巨大地震の爪痕、先人たちの知恵と教訓をとりあげ、巨大地震への備えの重要性を描いています。単に備えるといったことではなく、例示することで理解が深まる内容となっており、学校教育現場、地方自治体関係者にも見て頂きたい内容となっています。